

いつまでも歯を大切に

小学生を対象とした「歯と口の健康週間」図画・ポスターコンクールが、薩摩郡歯科医師会の主催で行われました。164点の応募があり、本町からは求名小学校1年の宮後幸輝さんが銀賞、柏原小学校1年の大園翔さんと鶴田小学校5年の上牧瀬梨央さんが銅賞を受賞しました。



宮後さん

大園さん

上牧瀬さん

七夕飾りを作ったよ

恵光保育園がこども図書館～えほんの森～に、つるだ学童クラブが鶴田中央公民館に色鮮やかな七夕飾りを届けてくれました。短冊には「みんなの夢がかないますように」や「コロナがはやくおちつきますように」といった願い事が書かれ、施設を涼しく彩ります。七夕飾りは8月7日まで飾られます。



恵光保育園

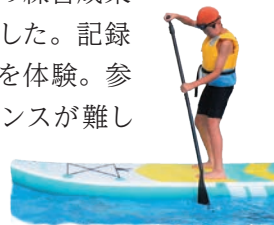
つるだ学童クラブ



好タイムを目指しベストを尽くしました

B&G水泳記録会・SUP体験

7月9日、町B&G海洋センターで水泳記録会が行われ、2つのスポーツ少年団から小学生31人が出場しました。選手は日頃の練習成果を発揮し、全力で泳ぎ切りました。記録会後は海洋性スポーツSUP^{サップ}を体験。参加者は「立ってこぐのはバランスが難しかったけど、楽しかったです」と話しました。



株式会社日特スパークテックWK S さつま工場
企業概要について説明を聴く高校生

ものづくり企業を高校生が見学

6月30日、町ものづくり企業振興会が薩摩中央高校の3年生を対象に企業見学会を行いました。地元の高校生に町内就職を視野に入れてもらうために企画され、15人が参加。稼働中の機械や製造現場の従業員の姿を見学し、参加者は「企業を見学したことで、具体的に働くイメージができるとてもいい機会になりました」と話しました。

町ものづくり企業振興会 ▶



美味しいブドウができました

7月20日、佐志地区の果樹園で町ブドウ振興会が主催するブドウ収穫祭が行われました。同振興会は、収穫祭でハサミを入れたブラックオリンピアをはじめ、巨峰、ピオーネ、シャインマスカットなどを9人の農家が3.9haで栽培。今年は天候に恵まれ、例年以上に良質なブドウができました。招待された恵光保育園年長の米永麻紘ちゃんは「家族みんなでブドウを食べたい」と話しました。



ブドウが落ちないように慎重にハサミを入れました

高校生 花き生産への理解深める

7月1日、さつまファームレディ倶楽部花育部会の主催で、薩摩中央高校生と生産者との現地交流を行いました。高校生はシクラメン農家の城戸大作さんや株式会社日野洋蘭園を訪問。生産者から事業などの説明を受け、ハウスを見学しました。生物生産科草花班3年の南侑希さんは「青色のコチョウランを初めて見ました。学校では体験できない良い経験になりました」と話しました。



日野洋蘭園で栽培方法などの説明を受けました



地元で作られる米の魅力や稲作の大変さを学習しました

鶴田小5年生 地元のお米を学ぶ

7月9日、鶴田小学校で5年生19人が、本町で農業をしている高嶺実樹雄さんから米作りを学びました。高嶺さんは、地元産の米の魅力に加え、稲を育てるときは冷たい水を使うほど美味しい米ができることや、収穫量が気候に左右されることなども伝えました。栗野汐里さんは「良いことも大変なことも知れました。米作りですごくたくさんの水を使うことは初めて知りました」と話しました。



多くの来場者で本町の物産ブースは大盛況でした

青森県で町特産品が大人気

6月18日、19日、本町と姉妹都市盟約を結ぶ青森県鶴田町で、道の駅つるだ鶴の里あるじゃ21周年記念祭が行われました。本町の物産ブースでは、黒毛和牛やさつまあげ、茶、カボチャ、竹製品、手作り飴などを出品。多くの来場者でにぎわいました。来場者の中には「カボチャがとても美味しかったので、また来ました」と二日連続で訪れた方もいて、町特産品の人気の高さがうかがえます。